

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-1 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実
---------	-------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育庁総務課長 松本 新吾	電話番号	0852-22-5407
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	「しまね教育の日」推進事務		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	県民一体となって本県教育の課題を解決していけるような機運を盛り上げるため様々な取組を行う。	
事業概要	「しまね教育の日」の趣旨にふさわしい取組として、教育フォーラム等の「しまね教育の日」関連行事を開催。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	「しまね教育の日」に因んだ活動への参加者数（延数）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	達成率＝「しまね教育の日」に因んだ活動への参加者数（実績値）／（目標値）×100	目標値		200,000	200,000	
			実績値	421,994	391,407	385,456	411,781		
			達成率		195.70	192.70	205.90		%
指標名	式・定義	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	900	900
うち一般財源(千円)	900	900

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度「しまね教育の日」に因んだ活動への参加者数：411,781人（前年度：385,456人）  
 平成26年度「教育の日フォーラム」の参加者数：100人（前回（H24）：109人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県民に「しまね教育の日」の意識が定着してきており、県・市町村・学校・PTA・公民館活動等で実施する「しまね教育の日」に因んだ活動への参加者数は増加している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
「しまね教育の日」の中心として開催している「教育の日フォーラム」参加者のほとんどが教育関係者である。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
教育委員会HPに開催内容を掲載しているが、掲載してからフォーラム開催までのアクセス件数は約150件となっている。
- ③原因を解消するための「課題」  
一般県民に参加してもらえるような周知方法にする必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

「教育の日フォーラム」に教育関係者だけでなく、一般県民にも共有できる教育課題を扱い、多くの方に参加してもらえるよう内容や周知方法を工夫する必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）